



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1937号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市梅名393-1 ブケ東海三島
TEL(055)984-0120
会長 野田 和秀 幹事 平出 利之



広重版画より 三島 朝霧

第2000回例会

2013.10.24晴

司 会

登崎久夫君

ロータリーソング

「それでこそロータリー」
指揮 三田明宏君

会長挨拶

副会長 諏訪部照久君

10月7日8日の二日間で岩手県の盛岡から被災地の陸前の高田高校と釜石港を視察してきました。7日は、岩手県・仙台市・福島県の被災地での現状の説明と根本匠復興大臣の「復興の現状と最近の取組」の講演がありましたが、説明だけで臨場感が湧かないため、対岸の火事的にしか理解できませんでした。しかし、8日に盛岡から3時間30分かかって到着した三陸海岸は、更地状態で震災後の処理がかなり進んではいたものの、異常な様相がしっかり伝わってきました。それは、テレビニュースで繰り返し報道されたロケーションその物だったからです。バスガイドの話によれば亡くなられた方の多くは、なかなか避難しなかった人達と忘れ物を取りに帰った人だったそうです。たしかに、民家から山へ避難する距離は5-6百メートル位で、避難勧告後でも間に合いそうに見えただけに残念だと思います。それでも津波のスピードは、時速700kmとのことですから一溜りもなかったでしょう。高田高校では、校舎が高台にあり津波の被害は無かったものの、運動場が海岸の近くにあって、水泳部と運動場において逃げ遅れた22名の尊い命が失われました。しかし今は、地域産業の即戦力となるために、魚の缶詰・鯖カレー・パン等の食品製造実習やダイバーの訓練など、真剣に取り組んでいる生徒の姿が印象的でした。釜石港でもかなり整地が進んでいましたが、がれきが高く幾つも積まれていて、まだまだ大変そうだと思います。又、釜石市内の起業家のパネルディスカッションと質疑応答では働き手が減ってしまい事業が出来なくて困って

いるとの事でした。改めて考えてみますと、三陸沖地震が東海沖地震であっても不思議はなかっただけに、ただ運が良かったのですが、今回の貴重な体験談を生かさなければならぬと思いました。そして、現地に行ったことで臨場感が湧き、復興に向けて一生懸命努力している姿をみて更なる応援をしたくなりました。皆様も東北に行く機会がありましたら是非被災地に行きましてあげて下さい。

“こんにちは、ようこそ”

ゲスト 鳥居正浩さん(古川君のゲスト)

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席率
前々回	36/48	75.00%	40/48	83.33%
今回	41/49	83.67%	会員総数	53名

欠席者 石井(彰)君、遠藤(正)君、勝間田君、鈴木(郁)君、千葉君、花房君、原君、森崎君

幹事報告

幹事 平出利之君

①来週の10月31日(木)は第5週ですので、特別休会です。次回は11月7日(木)になります。

2013~2014年度
国際ロータリー会長
ロンD.パートン

ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を

おめでとう

- 会員誕生日 平野君、宇田川君、瀬川君、
関本(照)君、遠藤(武)君
- 入会記念日 諏訪部(敏)君、関本(照)君、
佐野君
- 奥様誕生日 宇田川君、関本(照)君、
前田(博)君
- 結婚記念日 亥角君、佐野君、栗田君、
澤村君、柴崎君

スマイルボックス

- ◆社会奉仕委員会、10月6日の見晴フェスティバルに、多くの会員のお手伝いを頂き有難うございました。チョットした手違いで、豚汁の提供が出来ませんでしたことお詫び致します。また、備品などの提供に、伊丹さん、栗原さん、川名さん、前田博利さんに御協力いただきました。アルコールの提供は、西本さんでした。
- ◆栗田君、去る9月17日～10月8日迄、腹部大動脈りゅうと大腿動脈りゅうの2か所の手術のため、静岡日赤病院に入院して参りました。その後は傷が少し痛む程度、ぼちぼちやっています。
- ◆佐々木君、諏訪部敏之さん、テレビ出演カブリ物が似合っていました。
- ◆亥角君・西本君、関本さん、ゴルフ同好会の写真アリガトウゴザイマス。
- ◆伊丹君、年令でしょうか、腰を痛めました。今病院通いをしています。良い治療方法お持ちの方、教えて下さい。

卓 話

みしまライフとeコミスタッフ

古川喜仁君

本日は三島西RC第2000回例会の記念日です。1000回、2000回の節目に卓話が出来るとは幸せを味える会員は、私の他には、まだ1000回の1名しかおりません。この幸せを自分で独り占めしては、会員の皆様には大変申し訳なく思い、今回は外部卓話者をお呼びしました。

本日の外部卓話者、弊社関連会社の鳥居正浩君を紹介致します。彼は、株式会社エム・エス・エスの折込センター勤務、昭和36年11月4日生れ52歳。元三島北中PTA会長、元三島北高PTA会長、元三島市国際交流協会広報委員長、北中評議員などの経験から、三島市のSNSに関わりを持つ、自他共に認めるネット民、冬でもアロハシャツを愛用しております。ハワイに遊びに行つて昨日帰つて来た様です。ハワイが好きなようです。そんなことからネット上ではアロハ猫丸を名乗っているようです。

三島市民 SNS「みしまライフ」と市民eコミスタッフ
三島市の提供するインターネット情報システムと市民の関わり
鳥居正浩さん

みしまライフとは、三島市のインターネットによる情報提供の一つとして、「市民ポータルサイト」と「三島市地域SNS」の総称です。市民ポータルサイトは市民活動団体の活動発表の場として、三島市地域SNSは主に市民同士のコミュニケーションの促進をはかることと災害時の情報収集、発信の活用などを視野に入れたサイトです。

ICT市民ボランティア「市民eコミスタッフ」の発足目的は、以下の通りです。

- 1.三島市地域SNSなどの利用者に対して顔の見える安心な運営を目指すこと。
- 2.市民のインターネットセキュリティ対策の向上に努めること。
- 3.市民のインターネットリテラシーの向上に努めること。
- 4.市民が安心してインターネットを利用できる環境づくりを行うこと。
- 5.三島市地域SNSを通じてリアルな場の創出を行うこと。

平成20年11月ポータルサイトとSNSが開設され、市民活動団体とSNSユーザから運営サポート市民を公募し5名が応募。

平成25年4月電子広報推進室が設置されインターネットを活用した情報発信を強化し、現在に至っています。

Facebookなどの急速な普及やインターネットセキュリティについて市民と三島市が協働で対応するために「市民eコミスタッフ」として立ち上げ、発足時3人で徐々にメンバーは増やす予定。

10月1日付け三島市広報にも三島市が取り組む各種インターネット上の情報発信について掲載されました。

インターネットセキュリティや、現在一般的に求められるITリテラシーについて三島市が用意する情報発信からお話ししました。市民ボランティアから繋がる官民の情報リテラシーが期待されています。

詳しくはWebで!!(<http://sns.city.mishima.shizuoka.jp/>)

お問い合わせは、三島市広報広聴課電子広報推進室(Tel.983-2620)まで。

SNSは招待制ですので鳥居までメール(torii@mss21.co.jp)下さい。

(週報担当:川名正洋)